

令和5年度
北海道大学工学部
編入学試験（特別選抜）

【小論文】

（環境社会工学科 建築都市コース）

試験時間 9:00～11:00

- ・ 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、黒の鉛筆、黒のシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、眼鏡、時計（計時機能のみ有するもの）のみです。これ以外のものを試験時間中、机の上に置いてはいけません。
- ・ 携帯電話、スマートフォン等の電子機器類、及び時計のアラームは、試験時間中、使用してはいけません。これらの電子機器類は、あらかじめアラームの設定を解除して電源を切り、かばん等に入れなさい。

注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはいけません。
2. 問題紙は、このページを含めて3ページあります。
3. 解答用紙は「小論文1/3」から「小論文3/3」までの3枚、草案用紙は2枚あります。
4. 受験番号は、監督員の指示に従って、すべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入しなさい。
5. 解答はすべて、解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。なお、裏面を使用してはいけません。
6. 必要以外のことを解答用紙に書いてはいけません。
7. 解答用紙は3枚とも全部必ず提出しなさい。
8. 問題紙の余白は下書きに使用しても差し支えありません。
9. この問題紙と草案用紙は回収しません。

令和5年度
北海道大学工学部
編入学試験（特別選抜）

【小論文】

（環境社会工学科 建築都市コース）

令和5年度北海道大学工学部編入学試験（特別選抜）問題【小論文】
（環境社会工学科 建築都市コース）

下記の3つの設問のすべてに答えよ。

設問1

過去10年に建設された建築物のうち、自分が好きな建築物を一つ選び、その建築物の特徴を意匠、文化、構造、環境などの要素に注意して自由に述べよ。

設問2

昨年、COP26が英国・グラスゴーで開催され、温暖化のレベルを産業革命前よりも1.5°C以内に抑えることを目標とすることが確認された。一方、これらの宣言により化石資源開発への投資が減少し、また、ロシアのウクライナへの侵攻により、燃料の価格が世界中で高騰している。このような状況で、建設産業はどのように発展していくべきなのか、考えるところを自由に述べよ。

設問3

わが国は労働人口が減少しつつあり、建設産業のすべての分野で担い手が不足しつつある。そのような状況にあって、ロボットの活用が議論され始めている。建設産業におけるロボット利用の現状と将来について、考えるところを自由に述べよ。